

利害・価値観の違いを乗り越えていかに合意を形成するか
「変動期」の制度変化論と
明治新政府の人事を検討日時 ▶ 2021年 6月26日(土)
13:00~16:10会場 ▶ 関西大学 梅田キャンパス
8F大ホール 大阪府大阪市北区鶴野町1番5号

テーマと報告者

第1報告

変動期における制度変化論 ——
「社会」の要素に再注目する

研究員 関西大学経済学部 准教授 北川 亘太

委嘱研究員 東京都立大学経済経営学部 准教授 井澤 龍

第2報告

明治新政府の人事分析 ——
制度概要とデータ構築を中心に

主幹 関西大学経済学部 准教授 柏原 宏紀

研究員 関西大学経済学部 准教授 小嶋 健太

聴講無料

オンライン同時配信

事前申込制

先着50名

【開講の挨拶】

主幹 柏原 宏紀

近年、日本では(世界的にみても)これまで強い力をもっていた価値観がゆらぎ、さまざまな価値観が競合するようになっている。さまざまな組織のレベル(国際機関、政府、労使間、企業内)で、いかに利害・価値観の違いを乗り越えて合意を形成するかが、大きな課題として浮上している。この課題を解決する素材を提供するために、本研究班は、組織内・組織間で発生した問題をめぐる合意形成の事例を分析する。

第1報告では、政治経済学における既存の制度変化論について、米中対立やコロナ禍といった広い意味でのsecurity(安全保障環境、健康の保障、生活の見込み)が揺らぐ「変動期」を扱う上で欠けている要素を、社会学や国際政治学の理論・概念から拾い上げ、共同研究の新たな方向性を打ち出し、その位置付けを世に問い直す報告とする。

第2報告では、明治新政府において、トップの政治家と共に、重要な合意形成主体であった幹部官僚の人事を分析する。このような研究は、当時の合意形成や調整の前提を明らかにするものでもある。歴史学で簡単に考察されてきたこの分析対象に、本格的な計量分析手法を導入する共同研究の序章として、今回は制度概要とデータ構築を中心に報告する。

主催 関西大学経済・政治研究所
後援 大阪商工会議所 大阪市工業会連合会
大阪市産業経営協会
株式会社りそな銀行

事前申込制

対面参加は先着：50人

申込〆切：6月20日(日) 17:00



申し込みフォームを利用されない方は、氏名・ふりがな・所属・連絡先(電話番号・メールアドレス)・参加人数・参加方法(来場orオンライン)、件名に「6/26セミナー申込」を明記の上、下記のお申し込み先(関西大学研究所事務グループ)までハガキ、FAX、E-mail(keiseiken0401@gmail.com)でお申込みください。

お知らせと
お願い

○対面での参加をご希望の方

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事前申込制(先着順)とさせていただきます。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況、社会状況によっては、オンライン配信のみでの実施となる場合がございます。その際にはお申込みいただいた方にご連絡いたします。
- ・実施方法に変更が生じた場合、経済・政治研究所のホームページ、SNS等にてアナウンスいたしますので、ホームページ等をご確認くださいようお願い申し上げます。

○オンライン配信での参加をご希望の方

- ・後日、当日のZoom事前登録URL、注意事項等をメールにてご案内いたします。

問い合わせ先

関西大学研究所事務グループ
〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号
TEL(06)6368-1179/FAX(06)6339-7721
E-mail:keiseiken0401@gmail.com



関西大学
KANSAI UNIVERSITY

参加者の皆様におかれましては、感染防止策を講じて頂きますようご協力お願い申し上げます。